

2月を迎えて一段と寒くなりそうですが、子どもたちは、気温にかかわらず、いつも運動場で元気にドッジボールやなわとびの練習をしています。

先日は、学校関係者アンケートにご協力いただきありがとうございました。3月に、全体の結果や考察、次年度の計画などをまとめて、お知らせいたします。

あいさつする子
しっかり学ぶ子
たのしく遊ぶ子

○確かな学力、豊かな心を育みます ○開かれた学校づくりを推進します

人との出会いが心をたがやす

狂言教室で体験 5・6年 1/9

公益財団法人 山本能楽堂から講師先生が来て、立ち方、座り方、挨拶の仕方、声の出し方、歩き方などを丁寧に子どもたちに教えてくれました。実際に、せりふを言い合ったりもしました。

短い出し物「いろは」を鑑賞したときは、はじめにあらすじを教えていただいていたので、子どもたちも“笑いどころ”がわかって、おもしろかったようです。最後に、6年生が1学期に教科書で学習した「柿山伏」を見せていただきました。6年生は、何度も音読をしたお話なので、興味深かったようです。たっぷり2時間楽しむことができました。体育館にピンと張り巡らされた空気が、伝統芸能の良さをより感じさせてくれたように思いました。

○今日の狂言教室でいろんなことを教えてもらいました。何よりもこんなチャンスはめったにないと思います。喜劇でもやっている人の顔が真剣そのものでした。見に行ける機会があれば行けたらなあと思います。

○ぼくがおもしろいなあと思ったのは、動物の鳴き声です。特にさるの泣き声がおもしろかったです。犬の鳴き声が「ワン」ではなく「ビュン」だったのでびっくりしました。

○いろいろな道具を用意せずに、せんすだけでいろいろな物を表現していて、すごいなあと思いました。

○教科書で見たり、CDで聞いたりするよりも迫力がありました。



また、やってみたいな むかしあそび 1年 1/23

東山いきいきクラブや保護者の方々が、20人来校していただき、1年生に昔遊びを教えてくださいました。はねつきやあやとり、独楽回しなど、初めて体験する子どももいて、大変楽しく過ごしました。当日だけでなく、事前の準備や練習もしてくださったゲストティーチャーの皆様、本当にありがとうございました。

その後、日頃「子どもの安全見守り隊」として登校を見守ってくださっているいきいきクラブの方々と、お礼の気持ちを込めて、給食交流を行いました。



○ストローぶえは、しりませんでした。だけど、見たらわかりました。さいしょは、ふけなかったけど、れんしゅうしたらできました。いきいきクラブやほごしゃの人におしえてもらったむかしあそびで、またあそびたいです。

昔は手作りでおもちゃをつつたんだよ

いきいきクラブの方が、昔遊びの時に、空き箱やダンボール、松ぼっくりなどで作ったとても素敵な手作りの機関車を持ってきてくださいました。リサイクル品で手作りのおもちゃを作り、工夫して遊ぶことは今の時代でも大切にしたいことだと改めて思いました。



○確かな学力の向上に努めます

郵便配達 楽しいな 2年

生活科の学習で、今年も2年生が東山ゆうびん局を開きました。手作りのはがきや紙の「52年玉」を作り、昼休みに、はがきの販売を行いました。全校児童が、ハッピータイムと一緒に遊ぶ異学年の人にはがきを出しました。



○東山ゆうびんきょくがあって、わたしはとってもうれしいです。なぜなら、みんなでふれあうからです。ふれあうと、あたたかい言葉が、はがきにひっついていて、みんなうれしくなります。

○はがきのはんぱいをしました。とてもいそがしくて、1～6年まできました。とてもそうぞうとちがいました。ほとんど来ないと思っていたから、びっくりです。もう一つ、はがきを分けます。それは、まちがえてはいけなから、とてもしんちょうにしました。

大阪府PTA協議会団体表彰を受賞 1/17

本校のPTAが、平成26年度大阪府PTA協議会会長表彰をうけました。ベルマーク収集活動や東山ランド、広報委員会の広報誌「あした」の発行、児童行事委員会による三中校区ふるさとふれあいフェスティバルへのおでんやの出店など児童健全育成のための活動等に対して評価いただきました。



楽しかった第5回東山ランド 1/18

今年も、自治会の方々の飲食コーナー、くじ引き大会や、PTAの役員・運営委員の方々の体育館や生活科室でのゲームが行われました。当日は、大変お天気に恵まれ、子どもたちは、とても楽しく過ごせました。

地域の方々がみんなのために活動されている姿を見ることは、子どもたちのキャリア教育にもなります。計画・準備に尽力いただいた皆様に、大変感謝しております。



○安全な学校生活を推進します 1/16

地震の避難訓練

阪神淡路大震災から20年、東日本大震災から4年近くたちました。例年の地震避難訓練は、授業中など子どもたちが教室にいる状況で行ってききました。今年は、はじめて休憩時間中に行いました。いつものように教員が誘導するという避難ではなく、各自がそれぞれの場所から運動場に避難しました。

事前に、各学級で防火扉がしまっているときの避難の仕方を指導しました。また、阪神淡路大震災の資料を使った道徳の授業を行い、命の大切さや助け合う心などについて考えました。

